

JFA 第44回 全日本U-12サッカー選手権大会 2020 宮城県大会 帯同審判割振り

別に送付しました「統一事項文書」で審判割振り等については説明不足の指摘がありました。誤解が生じると試合運営等にも支障をきたすこととなりますので、再度審判割振りの統一事項について詳細に記載し送付いたします。

1 予選時の審判割振り（各会場共通）

- 帯同審判についての欄で、奇数チームという表現は、全て対戦表上のチーム（仙台市内チーム）になります。※カテゴリーD 11/1 第2試合のみ例外。

例) 10月25日カテゴリーAの第1試合の主審、第4審は第2試合の「FC中山」（仙台市内）、副審は「白石SSS（仙台市外）」のチームとなります。

- カテゴリーA B C Dの予選4試合は、第1試合を第2試合の両チームが行い、第2試合を第1試合の両チームが行います。主審、第4審は上記で示した「奇数（仙台市内）チーム」より選出し、副審2名は「偶数（仙台市外）チーム」より選出します。

- カテゴリーE F G Hの予選4試合も同様の順番で行いますが、審判割り当ては、上記の逆になり「偶数（仙台市外）チーム」が主審、第4審を選出し、「奇数（仙台市内）チーム」が副審2名を選出します。

- ◎ 全カテゴリー共通で、第1試合を第2試合両チームで行い、第2試合は第1試合両チームで行います。第3試合を第4試合両チーム、第4試合を第3試合両チームが行います。その中、両チームで協議し了承を得れば、主審等の変更は可能としました、その際は必ず会場本部に報告して下さい。

- シードチームが存在するカテゴリーでは、主審を審判部、第4審を会場担当で行いますので、仙台市内、市外関係なく、シードチームは副審2名を選出して下さい。

例) 10月25日カテゴリーA第3試合は、主審を審判部、第4審を会場担当者、副審を「FCセlestia」2名で行います。他会場も同様をお願いします。

2 2回戦試合の審判（カテゴリーにより試合表示が異なる場合が有ります）

第5試合の審判は第6試合の両チームが行い、第6試合の審判は第5試合の両チームで行います。その際の、主審、副審2名、第4審の割り振りは両チーム協議し決めてください。運営側の要望としては、対戦表上のチームが、主審、第4審選出、下のチームが副審2名選出です。

どうしても決まらない場合には、審判割当時間30分前迄に必ず両チーム代表者が会場本部に来てください。会場本部で決定させていただきます。

3 その他

帯同審判員（有資格者）は各チーム2名が必須になります。事前の帯同審判不可による受付は基本的に出来ませんので、各チーム独自で審判員を要請するなどお願いします。当日突発的な事由による帯同審判対応不可については、大会本部で対応します。但し、申し訳ございませんが有料となり、1試合1名につき「5,000円」納入して頂きます。

その他不明な点については、申し訳ございませんが抽選会代表参加のチーム関係者に直接お聞きするか、競技部長 齋藤までメールで連絡をお願いいたします。